

類別名称：歯科材料 07 歯科用ワックス
一般医療機器 一般的名称：歯科用ベースプレート JMDNコード：34808000

販売名：東洋ベースプレート

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

該当規格：JIS T 6510「歯科用ベースプレート」

形状：（上顎：写真上、下顎：写真下）



成分：セラック等の熱可塑性樹脂を主成分とする混合物
物理的性質

軟化温度	60℃
------	-----

【使用目的又は効果】

使用目的、用途

咬合堤の築盛又は試適用義歯作成の基礎となる土台。歯科用ベースプレートはワックス、セラック又は高分子からなり、個々の患者ごとに作成される。（個別製）熱可塑性樹脂を主成分とする仮床用材料、個人トレー材料。

【使用方法等】

(1) 仮床作成（上顎）

- ① 本材を約 60～65℃の温湯、又はバーナーで均一に軟化し、模型面に圧接します。模型面に予め、緩衝腔メタルを貼付けた後、本材を圧接することで粘膜面の間隙を確保することができます。
- ② 均一に軟化された本材を上顎口蓋部に静かに指先で圧接した後、顎堤頂上から唇頬側面に圧接適合します。正中小帯、上顎結節部に皺壁が生じた場合には、その部分を僅かに火焰で軟化し、再圧接します。
- ③ 辺縁部の圧接終了後、模型外壁よりやや大きめに本材をハサミで切除します。
- ④ 模型外壁からはみ出した本材を再度軟化し、溝内に巻き込みながら模型周縁溝内に圧接します。
- ⑤ 口蓋後縁は両側結節を覆い、Ah 線に一致して形成します。

(2) 仮床作成（下顎）

- ① 本材を均一に軟化し、舌側面から圧接、適合した後、顎堤頂縁、唇頬側に圧接します。辺縁は上顎同様に、辺縁溝に圧入適合します。

(3) 個人トレー作成

- ① Snap 模型作成後、外形線を描き、顎粘膜硬固な部分、及び緩圧腔等には緩衝腔メタルを接着材により貼付します。
- ② 次に本材を約 60～65℃の温湯、又はバーナーで軟化し、石膏模型の正中線より外方に向かって軽く圧接し、トレーとしての形態を調整します。補正にはゴム管の先端に導血針を取り付けて使用すると便利です。
- ④ トレーの柄は本材の切り屑をバーナーで加熱して接着します。
- ⑤ トレーの辺縁をバーナーで加熱して補正し、流水で冷却して完成します。

【使用上の注意】

(1) 使用注意

- ① 本材は可燃性であるので、使用の際、火傷をしないよう注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

〔貯蔵・保管方法〕

- ・室温保管
- ・本材を高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所など）に放置しないこと。
- ・使用及び保管場所には、消火装置を備えること。
- ・本材は火気厳禁の場所に保管し、一つの保管庫に大量に保管しないこと。
- ・本材は適切に保管・管理すること。

〔使用期限〕

- ・本材は、函に記載の使用期限までに使用すること。
〔記載の使用期限は当社データによる。〕

包装

- ① 東洋ベースプレート上顎 12 枚入/函
- ② 東洋ベースプレート下顎 12 枚入/函
- ③ 東洋ベースプレート 混 上 8 枚下 4 枚計 12 枚/函

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：株式会社 東洋化学研究所
製造元：同
住所：〒173-0004 東京都板橋区板橋 4-25-12
電話番号：03-3962-8811
ファックス：03-3961-1859